

指導案

1. 単元名

「 時間割を作ろう 」(第5学年)

2. 単元設定の理由

- 本学級の児童は、5年生の1学期に12時間の外国語活動を行ってきた。そのうち、4時間がGTとの授業である。1学期は、歌やゲームの活動を通して、世界の国の挨拶や自己紹介の仕方など知り、積極的に会話をすることで友達同士でのコミュニケーションを図ってきた。6月に実施した外国語活動に関するアンケートでは、「友達に自分からよく話しかけている」という質問に対し、「よく話しかけている」と答えた児童が33名中25名、「話しかけている」と答えた児童が8名だった。「GTや先生が話している英語をよく聞いてわかろうとしている」という質問に対し、「よくわかろうとしている」と答えた児童が27名、「わかろうとしている」と答えた児童が6名であった。この結果から、自分たちから進んでコミュニケーションをとろうとしている姿がみられることがわかる。また、「外国の暮らしや様子などをもっと知りたいと思っている」という質問に対し、「よく知りたいと思う」と答えた児童が25名、「知りたいと思う」と答えた児童が7名であった。「外国と日本を比べてみることがある」という質問に対し、「よく比べてみる」と答えた児童が18名、「時々比べる」と答えた児童が7名、「あまり比べない」と答えた児童が6名、「全く比べない」と答えた児童が1名であった。このような児童の実態から、本単元を通して、外国の児童の学校生活と日本との違いや共通点に気付かせることで、異文化への関心を高めたい。
- 本単元では、英語ノート1 Lesson8「時間割を作ろう」を活用し、「世界の小学校で学習している教科に興味をもつ。」こと、「自分の作った時間割を積極的に伝えようとする。」ことを目標としている。児童は、「何時間目に何の教科を学習するのか。」「他のクラスではどんな学習をしているのか。」等に興味をもって生活をしている。そこで、時間割を題材として扱うことは、児童の活動への意欲を高め、学習後にも、本単元で学んだことを活用しようとする姿が期待できる。GTの母国や旅行先の国で学習している教科について聞いたり、尋ねたりする活動を通して、日本と外国で学習する教科の違いや共通点があることに気付くことができると考える。また、自分たちでオリジナルの時間割を作る活動を通して、「GTに自分たちの作った時間割を伝えたい!」という相手意識をもった表現活動ができると考える。
- 指導にあたっては、「出会う段階」では、GTの母国や旅行先の国で学習されている教科について話をしてもらおう場を設定する。担任は、児童が学習している科目の教科書を用いて紹介する。その際、教科名を英語ではどのように表現をするのかを尋ねる場面を取り入れ、国によって学習している教科の違いや共通点があることを気付かせる。さらに、GTに作ってもらったオリジナル時間割を紹介してもらい、自分たちもオリジナル時間割を作ることを予告して、次時への活動の意欲を高めることができるようにする。

「関わる段階」では、自分だけのオリジナル時間割を作る活動を設定し、時間割を作る活動の中で、教科名や曜日の英語表現に慣れさせる。ここでは、ジャスチャー(非言語)を使って表現してもよいことを伝えておく。また、児童の参考になるように、担任が作ったオリジナル時間割を紹介する。オリジナル時間割を作る際には、一つだけ自分の好きな教科(活動)を入れてもよいことを知らせ、自分の考えを発表する活動への意欲を高めたい。

「表現する段階」では、各自が作った時間割をグループで交流し、グループオリジナルの時間割を作る。さらに、作った時間割をクイズ形式にして発表する場を設け、なぜ、その時間割にしたのかを説明することによって、互いに伝え合えたことを認め合うようにし、コミュニケーションへの積極的な態度を育てたい。

3. 目標

- 世界の小学校で学習している教科に興味をもち、その違いや共通点に気付く。
(言語や文化に関する気付き)
- 時間割について尋ねたり、答えたりしながらオリジナル時間割を作る。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 教科名や曜日などの英語表現を使おうとしている。(外国語への慣れ親しみ)

4. 単元構成の考え方

英語ノートの本単元の構成は、GTの母国での話や英語ノートにある中国とオーストラリアの教科書を例に挙げ、日本との違いや共通点、さらには世界の小学校で学習する教科に児童の興味を広げさせ、最終的にはグループで自分たちの時間割を作り、クイズ形式で紹介し合うという流れになっている。教科という児童にとって身近な題材を取り上げ、日本と外国の小学校で学んでいる教科には、違いや共通点があることに気付かせ、多様な考え方があることに触れる良さがある。そこで、「出会う段階」では、GTの母国で学習している教科についての話を聞く場面を設定し、自分たちとの違いや共通点に気付かせる。「関わる段階」では、自分のオリジナル時間割を作る中で、自分の作った時間割を友達に知らせたいという意欲を高めていく。「表現する段階」では、グループごとの時間割当てクイズをする中で、英語や日本語、ジェスチャーを使いながら、自分たちの考えを伝えようとする姿をねらっている。

5. 単元構成・評価規準（全4時間 ○は本時）

| 段階 | 時 | ねらい | 言 | コ | 慣 | 活動/評価規準 | 表現例 |
|-----|---|--|---|---|---|---|--|
| 出会う | ① | 日本と外国の小学校で学習する教科の違いや共通点に気づき、教科の言い方を知る。 | ◎ | | | 活動名「GTの国の学習は？」 「カルタとりゲーム」 「ジェスチャーゲーム」 評価規準 日本と外国の時間割の違いや共通点に気づき、発言しようとしている。 | Japanese, English, P.E math, science, social studies, music, Arts and crafts, home economics What subject is this? It's ~. |
| | 2 | 教科名や曜日の言い方に慣れ、積極的に聞いたり、話したりする。 | | | ◎ | 活動名「ビンゴゲーム」 評価規準 GTや担任の話すことの大體を聞き取り、まねをして話そうとしている。 | Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday What subject is this? It's ~. |
| 関わる | 3 | オリジナルの時間割を作り、自分の考えを伝え合う。 | | | ◎ | 活動名「オリジナル時間割を作ろう」 評価規準 オリジナルの時間割を作り、自分が作った時間割を友だちに伝えようとしている。 | What subjects do you study~ on(). I study ~ on(). |
| | 4 | 時間割当てクイズをしながら、自分たちの考えを伝え合う。 | | | ◎ | 活動名「どこのグループの時間割でしょう？」(クイズ) 評価規準 オリジナルの時間割について発表し、友だちのよさに気付いている。 | We study ~ on()? What group? |

5 学年「時間割を作ろう」

単元の評価規準

| <p>単元目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の小学校で学習している教科に興味をもち、違いや共通点に気付く。 2. 時間割について尋ねたり、答えたりしながらオリジナル時間割を作る。 3. 教科名や曜日などの英語表現を使おうとしている。 | | | |
|---|--|---|---|
| <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ GT の母国や旅行先の国の小学校で学習していることを興味をもって聞き、自分たちの学習との違いや共通点に気付いている。 ○ 教科名や曜日の英語表現を使ってオリジナル時間割を作り、自分の考えを伝えようとしている。 ○ 教科名や曜日の英語表現の言い方に慣れ、使おうとしている。 | | | |
| 観点 | 評価場面と方法 | おおむね満足な姿 (B) | ※おおむね満足する姿に達していない場合の考えられる支援 |
| 言語や文化に関する気付き | <p>【第1時】</p> <p>GT の話を聞いている場面</p> <p>(行動観察)</p> <p>(自己評価)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本と外国の時間割には違いや共通点があることに気付いている。 ・「どこの国にも算数はあるんだね。」 ・「ヨガが教科にある国もあるんだね。」 | <ul style="list-style-type: none"> ・GT や担任の話を聞いていない。 ※他国の教科書や学習の様子など、視覚的資料を提示して、興味関心をもたせる。 |
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | <p>【第3時】</p> <p>オリジナル時間割を作ったり伝えたりしている場面</p> <p>(行動観察)</p> <p>(自己評価)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分でオリジナルの時間割を作り、友だちに伝えようとしている。 ・「体育が一時間目に毎日あるのは、〇〇くんらしいね」 ・「わたしは音楽が好きだから、月曜日に音楽を入れたよ。」 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分から時間割を作ろうとしていない。 ※いくつか具体例を挙げながら活動の見通しをもたせる。 |
| | <p>【第4時】</p> <p>グループの時間割を作っている場面</p> <p>(行動観察)</p> <p>(発表観察)</p> <p>(自己評価)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ グループで作った時間割について進んで発表し、友だちのよさにも気付いている。 ・グループの時間割に友だちの考えも取り入れている。 ・「〇班は、スペイン版を参考にしている楽しそうだね。」 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをあまり表現しようとせず、友だちの考えで動いている。 ※発言の順番を決め、全員に発言の場を与える。 |
| 外国語への慣れ親しみ | <p>【第2時】</p> <p>教科名や曜日の言い方を使ったゲームをしている場面</p> <p>(行動観察)</p> <p>(自己評価)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ GT (CD) の話すことの大体を聞き取り、まねをしようとしている。 ○ 教科名や曜日などの英語表現を使おうとしている。 ・What subjects do you study? や教科名や曜日を表す英語表現の大体を発音しながらクイズやゲームをしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが英語で言っているのに、一緒に言おうとしない。 ※横に寄り添って一緒に言う。友だちと一緒に言うように声をかける。 |

6. 本時

平成 22 年 10 月 13 日（水）

7. 本時の目標

- 日本と外国の小学校で学習する教科の共通点や違いに気付き，世界の時間割に興味をもつ。

8. 本時指導の考え方

- 本時は，外国の小学校で学習している教科について知り，英語での教科の言い方を知ること，世界の時間割について興味をもつことをねらいとしている。そこでまず，外国の小学校でどんな教科が学習されているのかを時間割クイズにして取り組むことで児童の興味を高める。次に，GT の母国や旅行先の小学生がどんな教科を学習していたのかを紹介してもらい，日本と外国の小学校で学習する教科の内容の違いや共通点があることに気付かせる。GT と担任との会話の中で，GT には教科を表す言葉を，伝わりにくい場合にはジェスチャー（非言語）を交えて話をしてもらおうようにする。

次に，教科名を表す言葉に慣れるために，英語ノート 1 p. 73 のカードを活用して「カルタとりゲーム」を行う。GT と教科名の発音をした後，What subject is this?の会話を通して，その音に慣れさせる。さらに，What subject is this?を使ってジャスチャーゲームに取り組むことによって，その教科の特徴をとらえた問題を考えることで児童の意欲を持続することができる。また，楽しみながら教科名を答えることで英語の音に慣れ親しむことができると考える。振り返りカードを記入した後，事前に GT に作成してもらったオリジナル時間割を紹介してもらう。そこで，次時以降，自分たちもオリジナル時間割を作ることを予告し，第 4 時までの意欲を高める。

9. 本時の展開

| 過程 | 児童の活動 | 教師の支援（担任・GT） | 教材・評価場面 |
|-----------------|---|---|---|
| あいさつ（1） | 1 あいさつをする。 Hello. I'm ~. Thank you. | Hello,everyone. How are you? | |
| ウォームアップ（10） | 2 歌を歌い，曜日の言い方に慣れる。 “Sunday,Monday,Tuesday” 【p.52 Let's Sing】を歌う。 3 「時間割あてクイズ」をする。 | ○ 曜日の言い方に楽しく慣れさせるためにリズムにのって歌を歌う。 | CD 他国の時間割表 |
| めあて確認（1） | 4 めあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">外国の小学校でどんな学習をしているのかを知ろう。</div> | | |
| コミュニケーション活動（25） | 5 （1）外国の小学校でどんな学習をしているのかを知る。 ・GT の話を聞く。 ・GT に質問をする。 （2）教科の言い方を知る。 ・「カルタとりゲーム」をする。 | ○ 教科名の英語での言い方を知るために，GT との会話の中で自然に教科名を尋ねる場面を作る。 ○ 日本と外国ではジェスチャーが違うこ | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">GT の話を聞いている場面。 ○ 日本と外国の時間割の違いや共通点に気付き，発表しようとしている。（言語や文化に関する気付き）</div> |

| | | | |
|---------|--|---|---------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「ジェスチャーゲーム」をする。 | <p>とに気付かせるために、児童が問題を出す場面とGTが問題を出す場面を作る。</p> | |
| 振り返り（7） | <p>5 振り返りカードを記入し、感想を交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と外国で学んでいる教科の違いに気づきましたか。 ・外国の小学校で学んでいる教科についてもっと知りたいと思いましたか。 </div> | | 振り返りカード |
| あいさつ（1） | <p>6 あいさつをする。 Thank you very much.</p> | That's all for today. | |

資料

授業改善のポイントと修正指導案

● 第1時目標 (1/4)

○ 日本と外国の小学校で学習する教科の共通点や相違点に気付き、世界の時間割に興味をもつ。

● 展開

| 過程 | 児童の活動 | 教師の支援 (担任・GT) | 教材・評価場面 |
|--|--|--|---|
| あいさつ (1) | 1 あいさつをする。 Hello. I'm ~. Thank you. | Hello, everyone. How are you? | |
| ウォームアップ (10) | 2 歌を歌い、曜日の言い方に慣れる。 “Sunday, Monday, Tuesday” 【P52 Let's Sing】を歌う。 3 どの国の時間割かを当てるクイズをする。 | ○ 曜日の言い方に楽しく慣れさせるためにリズムにのって歌を歌う。 | CD 他国の時間割表 |
| めあて確認 (1) | 4 めあてを確かめる。 | | |
| 外国の小学校でどんな学習をしているのかを知ろう。 | | | |
| コミュニケーション活動 (25) | 5 (1) 外国の小学校でどんな学習をしているのかを知る。 ・GTの話聞く。 ・GTに質問をする。 (2) 教科の言い方を知る。 ・「カルタゲーム」をする。 ・「ジェスチャーゲーム」をする。 ・ GT が作ったオリジナル時間割を知る。 | ○ 教科名の英語での言い方を知るために、GTとの会話の中で自然に教科名を尋ねる場面を作る。 ○ 日本と外国ではジェスチャーが違うことに気付かせるために、児童が問題を出す場面とGTが問題を出す場面を作る。 ○ 質問をさせ、次時以降の学習への意欲を高める。 | GTの話聞いてる場面。 ○ 日本と外国の時間割の違いや共通点に気付き、発言しようとしている。(言語や文化に関する気付き) |
| 振り返り (7) | 6 振り返りカードを記入し、感想を交流する。 | | 振り返りカード |
| ・日本と外国で学んでいる教科の違いに気付きましたか。 ・外国の小学校の時間割を知って、自分たちのオリジナル時間割を作りたいと思いましたか。 | | | |